

神戸市感染症発生動向調査週報

平成28年8月3日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第30週 2016年 7月 25日 ～

2016年 7月 31日

インフルエンザ

設置定点数 48 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ																														

小児科
報告定点数 31 ケ所
設置定点数 31 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
R Sウイルス感染症			1							1			1											
咽頭結膜熱	7	2		2			1	2	1	15		1	3	2	3	2	2		1					1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	3			5	1	2	4	17	38			2	1	3	2	2	4	4	4	5	9		2
感染性胃腸炎	17	8	4	9	10	7	17	61	8	141	1	7	27	20	7	14	13	7	7	8	3	7	3	17
水痘		2			1		1		2	6			1	1				1		1			1	
手足口病	1	2	3	2	2	1	3	4		18		1	7	5	1	2				1	1			
伝染性紅斑	2		1			1				4				1		1	1		1					
突発性発疹	2				1		2	4	1	10		5	4	1										
百日咳							2			2			1	1										
ヘルパンギーナ	16	3	3	1	10	5	6	21	14	79	1	6	27	17	9	7	6	2	1			2		1
流行性耳下腺炎	6	3	1	1	18	3	11	11	12	66				3	3	8	14	14	10	4	2	5	1	2

昨年、複数の病院や高齢者施設で疥癬が流行した事例がありました。疥癬はヒゼンダニ（疥癬虫）が皮膚の最外層である角質層に寄生し、人から人うつる疾患です。症状は全身のかゆみや、指、手のひら、わきの下にできる発疹（疥癬トンネル）です。確定診断はヒゼンダニの検出ですが皮膚科医でも検出することは簡単ではありません。疥癬は通常疥癬と角化型疥癬の2種類で、通常疥癬のダニの数が数十匹であるのに対して、角化型では100万～200万匹と言われています。肌と肌が直接ふれることや、疥癬患者が使用した寝具や衣類から感染します。感染予防として、こまめな手洗いや衣類・シーツ類の洗濯後に乾燥機を使用することなどが重要です。疑わしい症状（発疹・かゆみ）があれば皮膚科を受診しましょう。

眼科
報告定点数 10 ケ所
設置定点数 10 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎																													
流行性角結膜炎						1				1									1										

（定点機関から報告されたその他の感染症情報）

東灘区〇プロウイルス感染症3例：年齢・性別不詳（6101）
東灘区〇アデノウイルス感染症1例：年齢・性別不詳（6101）
東灘区〇マイコプラズマ肺炎1例：5～9歳女（6101）
中央区〇カンピロバクター腸炎1例：10代男（6301）
中央区〇アデノウイルス感染症1例：0～4歳女（6301）
北 区〇アデノウイルス感染症1例：0～4歳男（6505）
北 区〇マイコプラズマ感染症2例：5～9歳男女（6505）
垂水区〇病原性大腸菌感染症1例：年齢・性別不詳（6804）
垂水区〇カンピロバクター腸炎1例：年齢・性別不詳（6804）
西 区〇マイコプラズマ感染症4例：5～9歳男女（6902）
西 区〇マイコプラズマ感染症3例：年齢・性別不詳（6903）
西 区〇ヒトメタニューモウイルス感染症1例：5～9歳女（6905）

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

神戸市 発生動向【検索】

または、神戸市ホームページ上段のバナーを以下のとおりたどってください。

（トップページ > くらし・手続き > 健康・医療 > 感染症・予防接種 > 感染症発生動向）

【結核に関する情報】 今週の結核届出患者数は11人（うち潜在性結核感染症7人）です。

【市内の感染症の状況】

市内で流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）が流行しています。
患者報告数は例年よりもかなり多く、注意報レベルに近づいています。
髄膜炎や難聴など重症化することがあり、予防接種が有効です。
1歳以上で接種することができます（任意・有料）

【感染症発生動向調査事業実施要綱】

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/trend/img/youkou110729.pdf>

※病原体サーベイランスとは、流行する感染症の病原体を詳しく調べて、その特徴や流行状況を監視するシステムです。解析結果は、「神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況」をご覧ください。

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2016年8月3日 作成

全数把握対象感染症発生状況 (四類感染症 レジオネラ症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	80代	2016年7月29日	2016年7月29日	2016年7月29日	肺炎型	尿中の病原体抗原の検出 (イムノクロマト法)	発熱、肺炎	不明	

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 侵袭性肺炎球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	80代	2016年6月29日	2016年6月29日	2016年6月29日	血清型未実施	分離・同定による 病原体の検出 (血液)	発熱	不明	ワクチン接種歴 不明

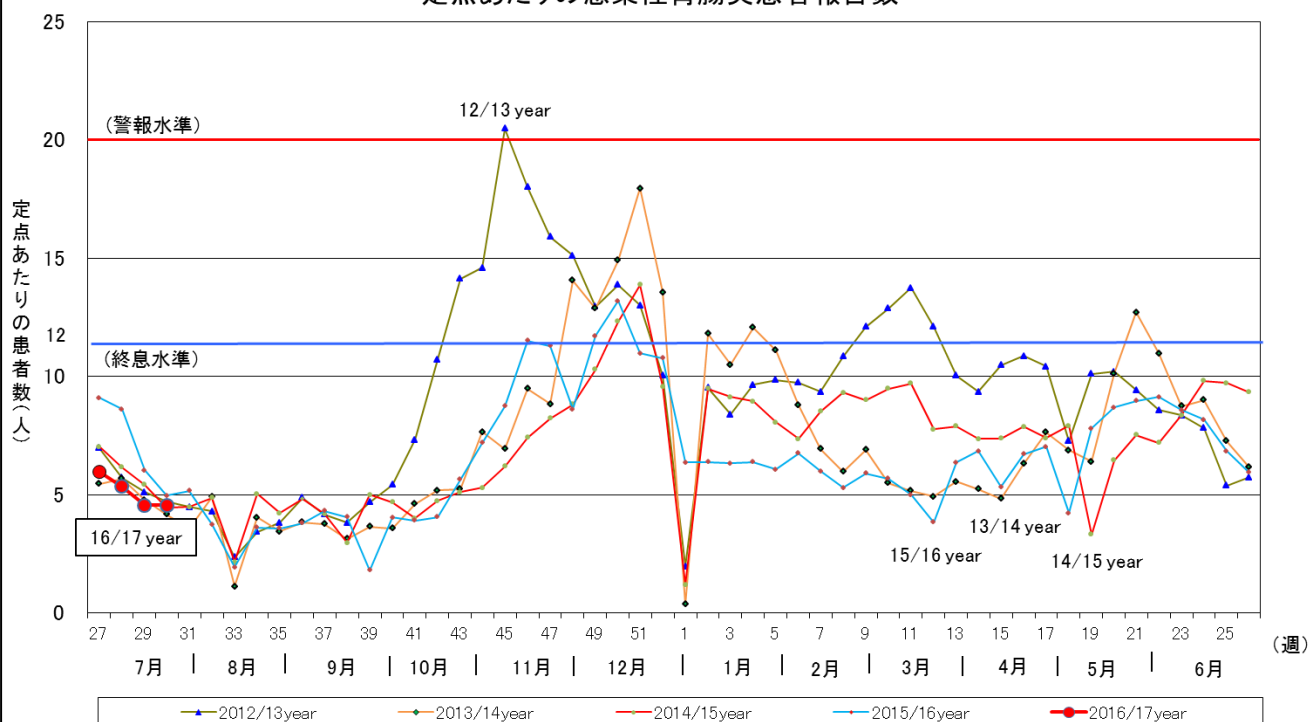
全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 梅毒)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	50代	不明	2016年8月1日	2016年8月2日	早期顕症梅毒 I 期	RPRカードテスト TPHA法	初期硬結	異性間性的接触	

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
ノロウイルスGII	便	東灘	9歳2ヶ月男児(7/24採取、37.8℃、感染性胃腸炎)、同じ施設内で複数の患者発生
	便	東灘	3歳男児(7/25採取、発熱なし、感染性胃腸炎)、上記と同じ施設
	便	東灘	7歳女児(7/25採取、38.1℃、感染性胃腸炎)、上記と同じ施設
	便	東灘	10歳女児(7/26採取、発熱なし、感染性胃腸炎)、上記と同じ施設
ムンプスウイルス	唾液	須磨	42歳男性(7/9採取、38℃)、家族内発生
	咽頭ぬぐい液	中央	5歳9ヶ月男児(7/19採取、発熱なし)
	唾液	西	7歳3ヶ月女児(7/24採取、37℃)、同じクラス内で複数の患者発生
	唾液	西	6歳1ヶ月男児(7/25採取、発熱なし)、通っている保育園で複数の患者発生

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



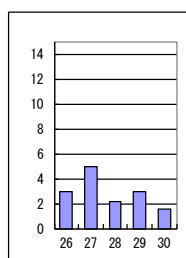
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 26 週 平成28年6月27日

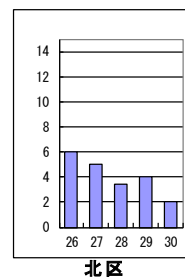
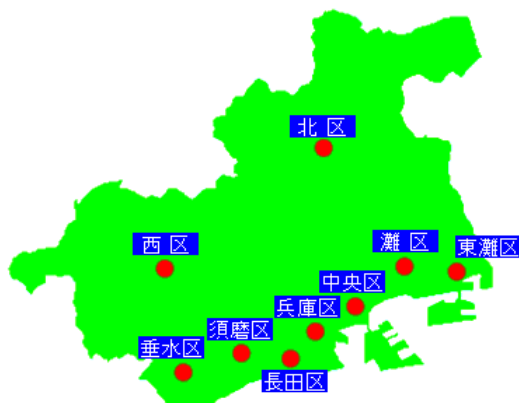
～

第 30 週 平成28年7月31日

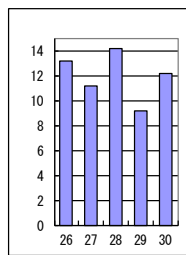
感染性胃腸炎



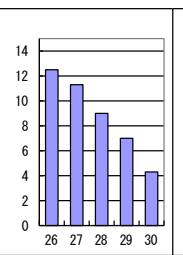
西区



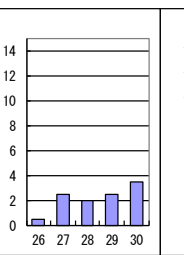
北区



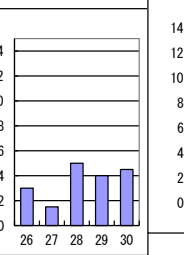
垂水区



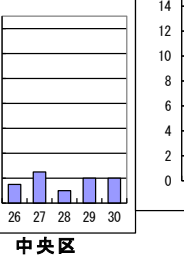
須磨区



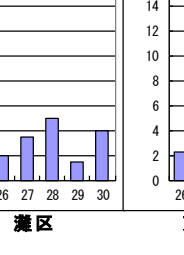
長田区



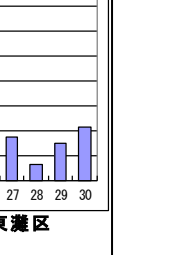
兵庫区



中央区



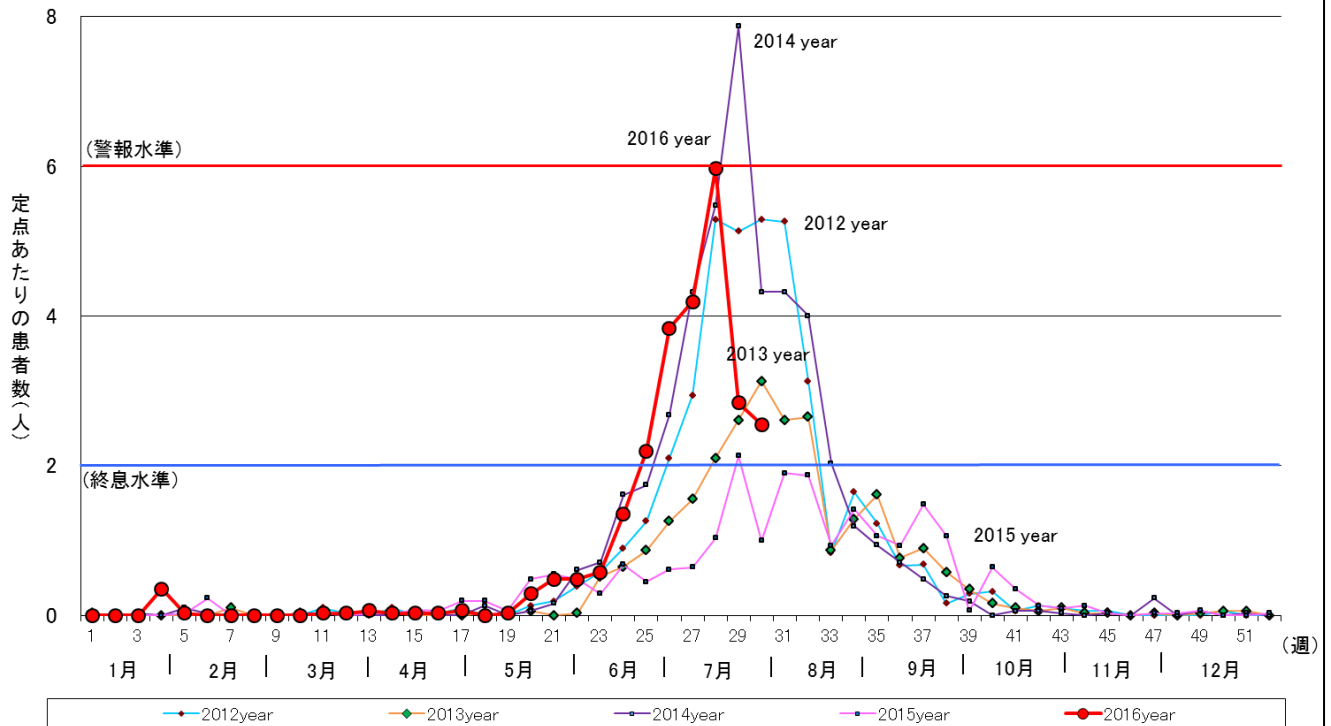
磯区



東区

※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりのヘルパンギーナ報告数



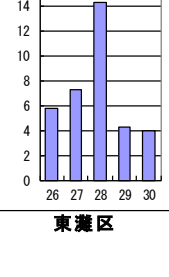
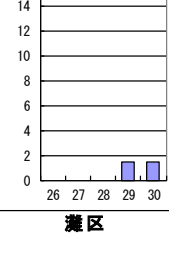
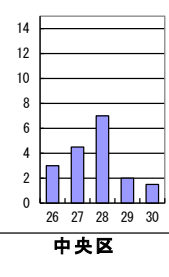
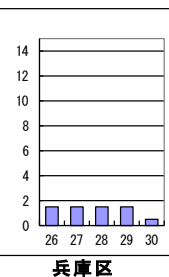
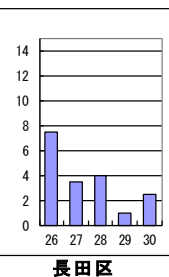
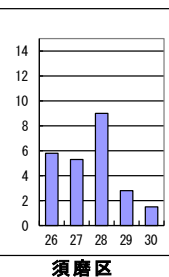
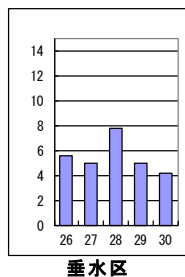
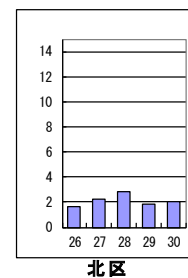
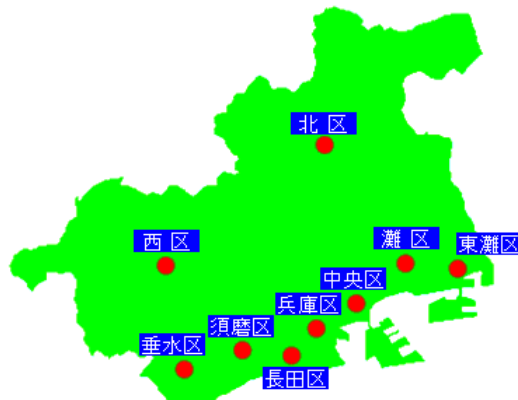
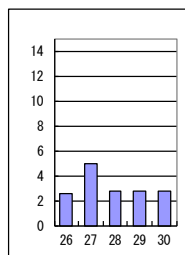
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 26 週 平成28年6月27日

～

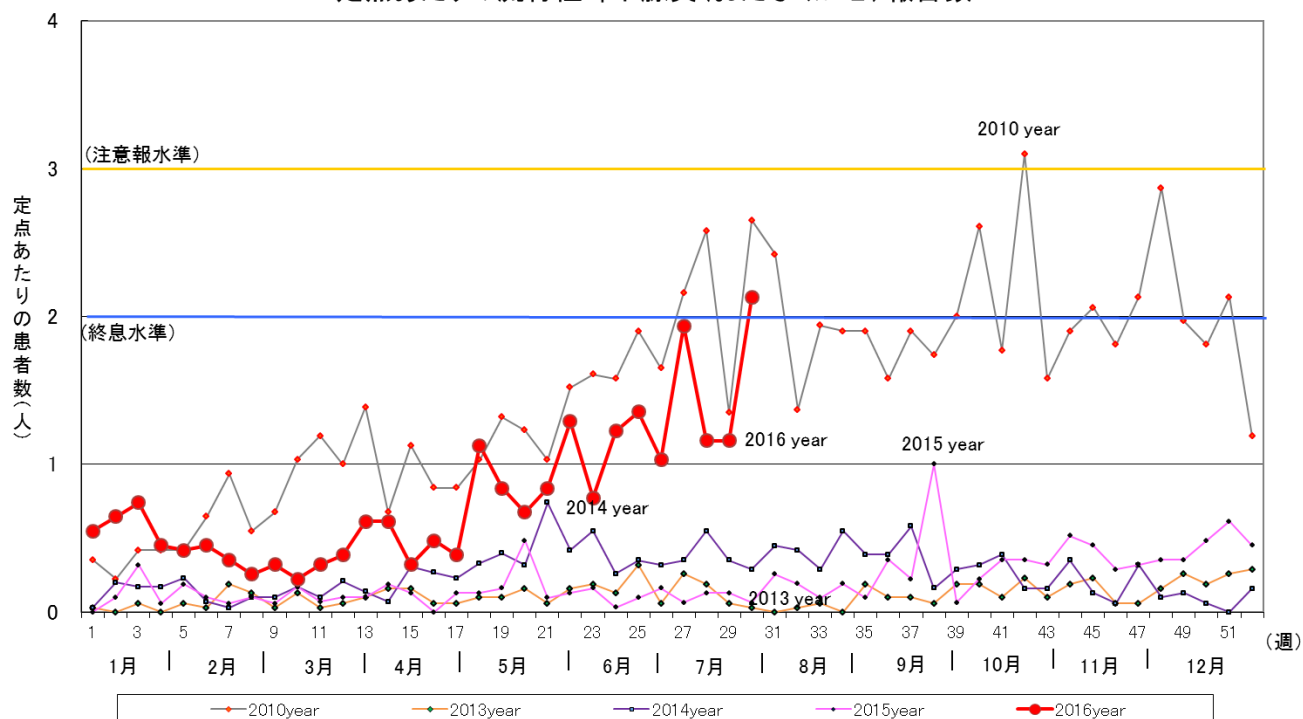
第 30 週 平成28年7月31日

ヘルパンギーナ



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継時的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりの流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)報告数



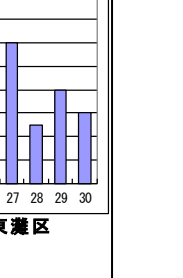
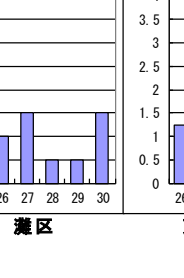
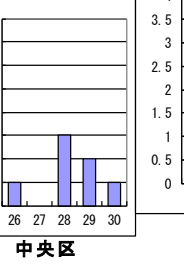
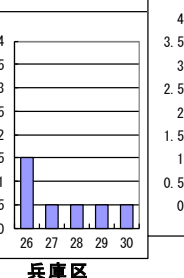
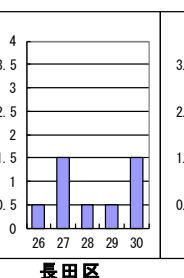
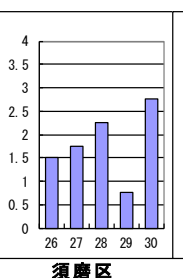
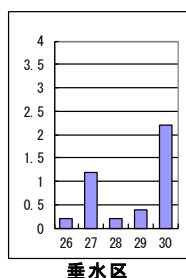
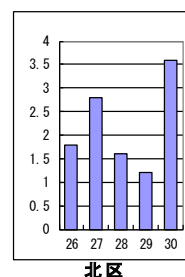
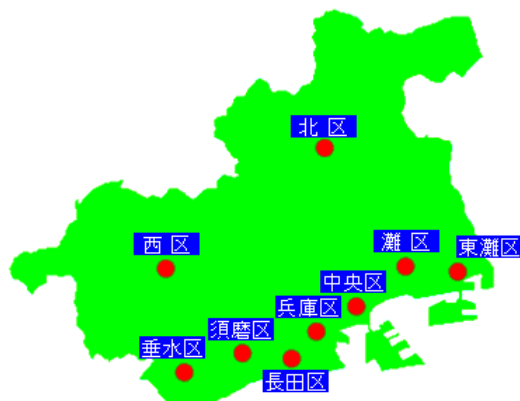
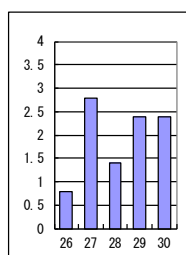
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 26 週 平成28年6月27日

～

第 30 週 平成28年7月31日

流行性耳下腺炎



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。